

『豊かで活力ある安全安心な川路』の実現！ 2022年（令和4年）11月30日

「川路基本構想」の策定 最終段階へ

11月14日の2区からスタートしたタウンミーティングは24日の8区をもって、無事終了しました。お忙しい中、各区とも大勢の皆さんに出席していただきありがとうございました。今村会長の1時間以上に及ぶ丁寧な説明に、「川路基本構想の説明でしたが、今まちづくりが実施している活動の背景が良く判り、とても良かった！」とのご感想や、「同じ内容を各区で長時間説明するのは大変だから、公民館で平日夜と、休日昼間の2回くらいの説明にしたら如何か？」とまちづくり役員を気遣っていただくご意見もありました。しかし7回のタウンミーティングを終えてみての感想は、「各区に出掛けて行くタウンミーティングの価値は大きい！」でした。川路全体の集会では遠慮しがちですが、気心の知れた区の皆さんの中だからこそ聞かせていただいた本音のご意見も数多くありました。第2次川路基本構想、川路土地利用計画に関しましては、「時間をかけて、多岐に亘って丁寧にまとめてあり、関係者の皆さんのご努力に敬意を表します。」とのご感想をいただくなど、各区とも大きな異論は無く肯定的に受け止めていただくことが出来ました。しかし、「盛りだくさんの内容で、実行するのが大変ではないか」、「具体的に、いつまでに何を実施するのかタイムテーブルのようなものがあると更に良かった。」等のご意見もいただきました。これらのご意見に対しては、今村会長より「既に実施している内容も多くある。また、達成するための重点実施項目を検討して実行に移していただく。そして”基本構想推進委員会“を新たに組織し、毎年新年度の計画をフォローして行く体制を構築する。」と説明しました。

＜今後の予定＞ 12月2日：追加タウンミーティング（コロナ等で参加できなかった方など）

12月～1月：幹事会により最終基本構想案を作成

令和5年2月中旬：臨時役員総会で議決

令和5年3月末頃：基本構想（新みどり本）全戸配布の予定

また、令和5年度の年度計画に具体的な基本構想の実行計画を盛り込んで参ります。4月末の定例役員総会では、当面の具体的計画をお示しするようにして参りますので、宜しくお願い致します。



5区タウンミーティングに参加された皆さん

「川路の宝」写真コンテスト作品カレンダー完成



役員会便り第39号でご紹介しましたが、「川路の宝写真コンテスト」全応募作品によるカレンダーのゲラ刷りが出来ました。現在、正式版1000部を印刷中です。12月中に川路地区全戸に配布させていただきます。又川路出身の皆さんにも送付するように準備中です。懐かしい川路の写真を見て、「コロナが終息したら、久しぶりに川路に里帰りしてみるか!」と思っただけいたら嬉しい限りです。今年は最初のイベントでしたので、様子がわからず応募されなかった方も、来年の写真コンテストには是非応募していただくようお願い致します。何が川路のお宝か?自然豊かな里山、朝焼けの空、風に揺れる田園、久米川河川敷、かわらんべ、天龍峡、川路の子供達、小河川の蛍、川路神社、琴原神社、諏訪神社、祇園祭、獅子舞、等々。川路のお宝を是非再発見してください。スマホやデジカメでも結構です。

写真コンテストは来年度も実施予定ですので、来年9月の締め切りに向け、今からは是非撮り始めてください。あなたからのご応募を楽しみにお待ちしております。



2023年川路カレンダー 下刷り

飯田市への土木要望 各区現地確認

11月14日から25日にかけて、各区の土木要望の現地確認を実施しました。自治振興センターからは増田所長、まちづくり委員会からは正副会長が参画し、各区区長、副区長から内容の説明を受けました。今年は農業用水に関する要望が目につきました。現在国道、県道に関する要望は7月締め切り、飯田市に関する要望は11月締め切りですが、地区の要望吸い上げは6月にまとめて実施しております。その場合飯田市への要望は緊急を要する要望以外は半年待って11月に飯田市に提出しますので、

「要望を出してからの飯田市の対応が遅い!」との声を各区からいただきました。以前はそれぞれ別々に2回に分けて実施しておりましたが、各区の作業が2度手間になるため、1回にまとめましたが、来年からは元に戻して、県と市はそれぞれ別々にまとめる方向で検討して参ります。



2区土木要望 現地確認

舟から見る天龍峡十勝! 第3弾 大満足

11月12日紅葉真っ盛りの中、「舟から見る天龍峡十勝! 第3弾」が行われました。ゆっくりと舟で下りながら天龍峡十勝を眺め、十勝にまつわる天龍峡の歴史を勉強していただきましたが、今回ばかりは美しい紅葉の世界に目を奪われ、歴史の勉強はほどほどに。参加者の皆さん! お配りした天龍峡十勝の資料、家でしっかり読んで勉強しておいてくださいね。



錦秋の中、舟下りを楽しむ参加者の皆さん